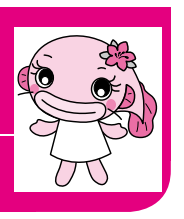
よしかわ議会だより

NO.182
令和元年8月1日



発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目１番地
ＴＥＬ　048（982）9421（議会事務局 直通）
ＦＡＸ　048（981）5392
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp

幼児教育・保育の無償化関連議案可決

元気いっぱいの子どもたち（市内よしかわエンゼル保育園にて）

主な内容

6月定例会の概要・補正予算……①
条例・意見書・請願など……②
常任委員会の審査から……③
答えて市長！一般質問……④～⑥
審議結果・次回定例会の日程・編集後記……⑦
◆特集◆吉川市議会の知っ得！……⑧

マチイロ 検索

6月定例会の概要

6月定例会は、5月31日から6月14日までの15日間にわたり開催されました。

市長提出議案14件は、すべて原案のとおり可決・同意されました。また、請願1件を採決、議員提出議案は5件を上程し、2件可決しました。

また、3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、18人の議員が市政全般について市の見解をただしました。

市長提出議案

補正予算を可決

一般会計補正予算

1億3804万6000円の補正予算が計上され、予算総額は255億7104万6000円となりました。

下水道事業会計補正予算

今年度より特別会計から企業会計に変わったことに伴う処理を行いました。詳しくは3頁をご覧下さい。

一般会計補正予算 こんなことに使われます

幼稚園就園補助事業
（実費徴収に係る補足給付事業費補助金）
459万0000円

10月からの保育無償化実施以降、市内幼稚園に通う児童の給食費のうち、主食費（米・パン等）を除く副食材料費の実費負担を軽減する幼稚園に対し、費用の一部を支援します。

未婚児童扶養手当受給者臨時特別給付金給付事業
191万5000円

消費税10％への引き上げに伴い、児童扶養手当受給者のうち、税法上の寡婦控除が適用されない未婚のひとり親に対し、今回に限り、1万7500円給付します。（要申請）

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律（令和元年法律第7号）等の公布による幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、幼稚園、保育所、認定こども園などに通う3歳から5歳の児童と0歳から2歳の住民税非課税世帯の児童の保育料の無償化などを行います。

市長提出議案――次ページへ続く

市長提出議案

――前ページから続き

吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

全国的に、小規模保育事業所が連携施設を確保できていない状況を鑑み、経過措置の延長と連携施設の対象を緩和します。

連携施設における連携内容は、保育内容の支援、代替保育及び卒業後の児童の受け入れの3点です。

現在、市内全ての小規模保育事業所が、保育内容の支援と卒業後の児童の受け入れの連携を行っていますが、代替保育について一部未連携の状態です。

市は連携施設を確保するための相談や情報提供を行っていきます。

吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事請負契約の締結　2億8369万0000円

吉川美南駅東口周辺地区の開発に伴い、増加する雨水の地区外への流出量を抑制するため、開発区域内に雨水流出抑制施設として調整池を設置します。

1号調整池は本来の目的である雨水の流出抑制をする治水施設の他、多目的に使える空間を確保する計画となっています。

当該年度は1号調整池内への地下水流入防止のため、調整池の周辺に遮水矢板を打設する工事を行います。

吉川市水道運営委員会条例の一部を改正する条例

持続可能な水道事業の実現のため、アセットマネジメント、水道ビジョンの策定に向け、吉川市水道運営委員会の委員に水道事業に精通した知識経験者を加え、意見を取り入れます。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

令和元年9月30日に任期満了となる山崎秀晃氏を、再度推薦することに決まりました。

議員提出議案

意見書

今定例会では、意見書5件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。（一部抜粋。市ホームページにて全文をご覧いただけます。）

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書

加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因になります。また最近では鬱や認知症の危険因子になることも指摘されています。加齢性難聴によりコミュニケーションが減り、会話することで脳に入ってくる情報が少なくなることが脳の機能の低下につながり、鬱や認知症につながるのではないかと考えられています。

欧米では補聴器購入に対して公的補助制度があり、日本でも一部の自治体で高齢者の補聴器購入に対して補助を行っています。補聴器の更なる普及で、高齢になっても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながります。

よって、国において加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を創設することを求めます。

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

暴力を振るう、食事を与えない等の行為によって保護者が我が子を死に追いやるといった深刻な児童虐待事件が相次いでいます。こうした事態を防ぐため、国は虐待の発生防止、早期発見に向けた対応を行ってきましたが、悲惨な児童虐待は依然として発生し続けています。

今国会に提出された児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等改正案の早期成立を求めるとともに、下記の事項につき、取り組みの推進を強く求めます。

記

1．「しつけによる体罰は要らない」という認識を社会全体で共有できるよう周知啓発に努めるとともに、法施行後必要な検討を進めるとしている民法上の懲戒権や子どもの権利擁護の在り方についても速やかに結論を出すこと。

他3項目

請　願

「教科書採択に関する吉川市教育委員会及び第25採択地区協議会の議事録の公開性・透明性を求める請願」

請願者　清川　久基（吉川教育を考える会代表）

紹介議員　遠藤　義法　岩田　京子

請願の要旨

文部科学省や埼玉県教育委員会がともに、教科書採択に当たってはその情報を積極的に公開・公表し、公正・公平な採択が行われるように通知文を出しています。吉川市教育委員会や第25採択地区教科用図書採択協議会においても、その通知文の趣旨を達成するために、議事録作成の改善を求めた内容です。

その理由として、教科書採択に当たり、決定過程の最も肝心な部分の議事録が作成されていないため、市民がその経過・内容を十分に知ることができません。7月31日の採択協議会で、選定の過程で各委員の「投票」が行われたことは明記してあります。しかし、開票までは記述されていますが、最も肝心な「投票結果」についての記述がありません。これでは各委員による投票が採択にどういう意味を持ち、どういう役割を果たしたのか判断できません。事実を正確に記録した議事録を本来の情報公開ツールとしての役割を果たせるようにすべきです。

◆請願に対する討論

2名の議員が討論を行いました。討論要旨は次のとおりです。

賛成　共産党吉川市議員団　雪田　きよみ

文科省は平成2年3月、教科書採択の在り方に関する調査研究協力者会議の報告で、「採択における適正・公正の確保の徹底を図る」ことと同時に「開かれた採択の推進」を謳った。「教科書や教科書採択に対する国民の関心は高い。教科書採択には採択結果等の周知・公表など保護者等の関心に応えるような方策を講じるなど、採択をより開かれたものにしていくことが必要」と書かれている。

文科省の方針に従い、議事録を作成するべきである。

賛成　未来会議よしかわ　戸田　馨

請願者へ直接連絡させていただき、請願の主旨を確認できた。①市教育委員会に対し、意見聴取部分ではなく、採択する教科書案の決定内容の公開を求める②第25採択地区協議会に対し、誰がどこに投票したかという内容ではなく、投票結果そのものの数字のみの公開を求める

様々な思想が教科用図書を取り巻く状況である中、請願の主旨が選挙人に対する干渉や、投票の自由を妨げる範囲にかかるものではないものと判断する。

市長提出議案

――前ページから続き

吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

全国的に、小規模保育事業所が連携施設を確保できていない状況を鑑み、経過措置の延長と連携施設の対象を緩和します。

連携施設における連携内容は、保育内容の支援、代替保育及び卒業後の児童の受け入れの3点です。

現在、市内全ての小規模保育事業所が、保育内容の支援と卒業後の児童の受け入れの連携を行っていますが、代替保育について一部未連携の状態です。

市は連携施設を確保するための相談や情報提供を行っていきます。

吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事請負契約の締結　2億8369万0000円

吉川美南駅東口周辺地区の開発に伴い、増加する雨水の地区外への流出量を抑制するため、開発区域内に雨水流出抑制施設として調整池を設置します。

1号調整池は本来の目的である雨水の流出抑制をする治水施設の他、多目的に使える空間を確保する計画となっています。

当該年度は1号調整池内への地下水流入防止のため、調整池の周辺に遮水矢板を打設する工事を行います。

吉川市水道運営委員会条例の一部を改正する条例

持続可能な水道事業の実現のため、アセットマネジメント、水道ビジョンの策定に向け、吉川市水道運営委員会の委員に水道事業に精通した知識経験者を加え、意見を取り入れます。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

令和元年9月30日に任期満了となる山崎秀晃氏を、再度推薦することに決まりました。

議員提出議案

意見書

今定例会では、意見書5件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。（一部抜粋。市ホームページにて全文をご覧いただけます。）

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書

加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因になります。また最近では鬱や認知症の危険因子になることも指摘されています。加齢性難聴によりコミュニケーションが減り、会話することで脳に入ってくる情報が少なくなることが脳の機能の低下につながり、鬱や認知症につながるのではないかと考えられています。

欧米では補聴器購入に対して公的補助制度があり、日本でも一部の自治体で高齢者の補聴器購入に対して補助を行っています。補聴器の更なる普及で、高齢になっても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながります。

よって、国において加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を創設することを求めます。

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

暴力を振るう、食事を与えない等の行為によって保護者が我が子を死に追いやるといった深刻な児童虐待事件が相次いでいます。こうした事態を防ぐため、国は虐待の発生防止、早期発見に向けた対応を行ってきましたが、悲惨な児童虐待は依然として発生し続けています。

今国会に提出された児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等改正案の早期成立を求めるとともに、下記の事項につき、取り組みの推進を強く求めます。

記

1．「しつけによる体罰は要らない」という認識を社会全体で共有できるよう周知啓発に努めるとともに、法施行後必要な検討を進めるとしている民法上の懲戒権や子どもの権利擁護の在り方についても速やかに結論を出すこと。

他3項目

請　願

「教科書採択に関する吉川市教育委員会及び第25採択地区協議会の議事録の公開性・透明性を求める請願」

請願者　清川　久基（吉川教育を考える会代表）

紹介議員　遠藤　義法　岩田　京子

請願の要旨

文部科学省や埼玉県教育委員会がともに、教科書採択に当たってはその情報を積極的に公開・公表し、公正・公平な採択が行われるように通知文を出しています。吉川市教育委員会や第25採択地区教科用図書採択協議会においても、その通知文の趣旨を達成するために、議事録作成の改善を求めた内容です。

その理由として、教科書採択に当たり、決定過程の最も肝心な部分の議事録が作成されていないため、市民がその経過・内容を十分に知ることができません。7月31日の採択協議会で、選定の過程で各委員の「投票」が行われたことは明記してあります。しかし、開票までは記述されていますが、最も肝心な「投票結果」についての記述がありません。これでは各委員による投票が採択にどういう意味を持ち、どういう役割を果たしたのか判断できません。事実を正確に記録した議事録を本来の情報公開ツールとしての役割を果たせるようにすべきです。

◆請願に対する討論

2名の議員が討論を行いました。討論要旨は次のとおりです。

賛成　共産党吉川市議員団　雪田　きよみ

文科省は平成2年3月、教科書採択の在り方に関する調査研究協力者会議の報告で、「採択における適正・公正の確保の徹底を図る」ことと同時に「開かれた採択の推進」を謳った。「教科書や教科書採択に対する国民の関心は高い。教科書採択には採択結果等の周知・公表など保護者等の関心に応えるような方策を講じるなど、採択をより開かれたものにしていくことが必要」と書かれている。

文科省の方針に従い、議事録を作成するべきである。

賛成　未来会議よしかわ　戸田　馨

請願者へ直接連絡させていただき、請願の主旨を確認できた。①市教育委員会に対し、意見聴取部分ではなく、採択する教科書案の決定内容の公開を求める②第25採択地区協議会に対し、誰がどこに投票したかという内容ではなく、投票結果そのものの数字のみの公開を求める

様々な思想が教科用図書を取り巻く状況である中、請願の主旨が選挙人に対する干渉や、投票の自由を妨げる範囲にかかるものではないものと判断する。

常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、
担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。
主な審査内容を各常任委員長が要約して
お知らせします。

総務水道常任委員会

◆吉川市水道運営委員会条例の一部を改正する条例

知識経験者を加える理由は。

持続可能な水道事業の実現のため、アセットマネジメント、水道ビジョンの策定に取り組んでおり、知識経験者（水道事業に精通した方）の意見を取り入れたい。

業務委託（水道ビジョン策定）で作ったものを、水道運営委員会で詰めてもらいたいという理解でよいか。

業務委託では、主に水道事業の状況の整理、資料の作成を行っている。

一般財団法人「全水道会館水情報センター」という団体があるが、そこの意見を聞いてみては。

多方面からの意見を聞く必要性は感じており、水道事業に精通した方を選任するという考えのもと進めていきたい。

賛成全員で可決

◆令和元年度一般会計補正予算
歳出　総務費・情報管理費

国から10／10の補助ということだが、金額の根拠と内容は。

住民情報系システムを管理する業者の見積り。内容は国から提示された仕様書に基づき、幼児教育無償化などに対応するシステム改修となっている。

システム改修に係る人／月は。

幼児教育無償化が13・5人／月。未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金が47・5人／日となっている。

賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

◆吉川市介護福祉条例の一部を改正する条例

改正の背景、減額による影響。

社会保障と税の一体改革として、消費税率を引き上げた増収分については、社会保障費に充てることになっている。介護保険事業については低所得層にあたる第一段階から第三段階までの保険料を改定するもの。減額の対象者は約４０００人、この対象者にあたる保険料の総減額は、約１７７０万円、このうち２分の１を国、４分の１ずつを県と市が負担する、市の負担額は約４４０万円となる。

賛成全員で可決

◆吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

本条例の改正を必要とするに至った経緯は。

全国的に小規模保育事業所が連携施設を確保できていない状況に鑑み、経過措置の延長と連携施設の対象を緩和する内容の法改正があった為、法改正に合わせて本条例を改正するもの。

連携施設の対象を緩和する内容とはどの様なことか。

主に代替保育に係る連携施設の確保が困難であるという実態を踏まえた内容になっている。

賛成全員で可決

◆令和元年度吉川市一般会計補正予算

未婚のひとり親に対して１万７５００円を給付するとあるが、この額の根拠は。

未婚のひとり親に対して寡婦控除が適用された場合の標準的な減税額が１万７５００円であることを捉えたもの。

保育士不足による保育の提供量の確保と保育の質の確保についてどのように考えているか。

今回の幼児教育無償化は、大部分が３～５歳の保育所や幼稚園に通う児童が対象になっている。市内の保育所及び幼稚園の現状は、定員より入所人数が少なく空きがあるため、問題はないと考える。

実費徴収に係る補足給付事業費補助金について今までどの様に対応していたのか。

実費徴収に係る補足給付事業費補助金について、国の制度としては以前からあったものの、当市は実施していなかった。今般の幼児教育無償化を契機に実施するもの。

賛成全員で可決

◆請願第１号「教科書採択に関する吉川市教育委員会及び第25採択地区協議会の議事録の公開性・透明性を求める請願」

賛成全員で採択

建設生活常任委員会

◆工事請負契約の締結について

１号調整池の構造や容量の内容は。

掘込式で計画貯留量約10万㎥である。

１号調整池の多目的広場における利用の考え方は。

近隣公園におけるワークショップなどで調整池における利用方法についてアイディアをいただいており、今後利用方法を検討していく。

１号調整池の整備イメージは

吉川中央第１調整池のような複断面形式である。

賛成全員で可決

◆令和元年度吉川市下水道事業会計補正予算について

今回の補正予算のポイントは何か。

企業会計予算となったことで平成30年度の下水道特別会計予算で繰り越したものについて、繰り越した先の款項がないため、款項を指定して組み入れたものである。

収支はどうなっているのか。

支出は、１億７７４６万円。収入は、企業債が８８７０万円、国庫補助金で８８７０万円、一般財源となっていた６万円については、当年度分消費税資本的収支調整額の増額分である。

消費税の増額を見越していたということか。

消費税の増額は無関係で、支払った消費税と下水道使用料等の頂く消費税の差額である。

賛成全員で可決

表紙の写真

よしかわエンゼル保育園の皆さんが撮影に協力してくれました。元気いっぱいの子ども達、笑顔があふれています。

吉川市では、第５次総合振興計画のもと、まちづくりを進めています。特に、子育て支援については、「未来を育む児童福祉の推進」を重点施策として、行政・家庭・地域が一体となった子育て支援や児童の健全育成などの子育てをしやすいまちづくりを目指しています。

◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501　吉川市きよみ野一丁目1番地
吉川市役所　議会事務局
FAX（981）5392

答えて市長！一般質問

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。
会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は9月上旬となる予定です。

本会議録画配信はこちらから↓

中学校制服について…キュロット・ズボンの選択肢は

濱田　美弥

(問) 吉川中学校の制服がアンケートや話し合いで決定し、開校に向け準備も進んでいます。開校に合わせて、他校の制服等も不便はないか再確認を。

自転車通学の生徒がスカートの下にジャージ等をたくし上げて着ており、理由を尋ねると下に着ていれば学校での着替えが容易なこと、更衣室や着替える時間もあまりないとのことで夏場は下着代わりに体操服を着ていて大変暑そうです。スカートが風でめくれても体操ズボンを履いているから大丈夫、とのことですが、この状態は疑問です。昨今は様々な性癖の犯罪者が盗撮を狙っていたり写真や動画をSNSに無許可で投稿したり犯罪も悪質化しています。夏場に限らず、生徒の状態や好みに合わせてスカート、スラックスの選択、更衣室の整備も他校でも取り入れていただきたいと思いますがお考えを伺います。

(答)**教育部長**　各校の判断によるが研究して貰えるよう伝える。

吉川市の教育行政について

戸田　馨

(問) 戸張教育長の就任にあたり、吉川市の教育行政に対する教育長の考え、その中でも特に「教育大綱について」「市の学校教育課題」「教育の質の保証」に対する見解を伺う。

(答)**教育長**　吉川市の教育大綱は、「自分を大切にし、社会で生き抜く力を身につけていくこと」などの意味が込められたものと認識している。教育大綱のキーワードは「志」であり、一人一人を大切にする教育理念である吉川市教育大綱のもと、児童・生徒一人一人が自らの志を育むことができるよう、市独自の志教育を進めてゆく。「学校教育の課題」である学習意欲の低下、不登校、いじめ等については、教育活動を通じ「学力・体力・非認知能力」を高め、高い志を持った子ども達に育てることこそが課題解決に繋がってくるものと考える。「教育の質の保証」については「授業の改善」が重要であり、主体的対話的で深い学びのある授業を行ってゆく。

学童について

林　美希

(問) ①駅南側で土曜保育を行う必要があると考えるが見解は。②美南学童の量の不足が生じる見込みはあるか。③民間学童の誘致、補助制度の整備が必要と考えるが見解は。④市条例にある「地域との連携」「自主性の向上」を図り実施している具体例の有無、その内容は。

(答)**こども福祉部長**　①保護者アンケートを実施し、早ければ来年度から実施したい。②令和8年に不足となる可能性がある。③公設公営で整備していく。④地域との連携は一部学童のイベントの中で実施。自主性の確立については今後の検討課題。

(問) ①公設公営では難しい保護者ニーズの実施が、民間学童において実現可能性があると考える。民間学童設置の制度整備を検討していただけないか。②条例にある内容を全学童で取り組んでいただきたいがいかがか。

(答)**こども福祉部長**　①研究する。②学童保育全般の充実を検討していく中で考えていく。

吉川駅北口地区・南中周辺の浸水対策と調整池設置を

降旗　聡

(問) 吉川駅北口地域の治水対策としての木売落しの改修を計画。進捗状況と今後の方向性は。

(答)**都市整備部長**　平成15年度から検討し、平成24年度に概算事業費を試算したが、平成26年8月豪雨や平成27年9月の関東・東北豪雨、平成29年7月の九州北部豪雨などが発生したため、平成29年度～平成30年度実施の「木売落し構造断面検討委託業務」では、ポンプ施設の増強や自家発電施設の追加などの検討を業者に指示した。結果、概算事業費が増加し、国庫補助の導入基準である費用対便益の比率を下回ったため、事業費を抑制できないか検討している。

(問) 南中学校周辺地区の浸水対策として調整池を。

(答)**都市整備部長**　周辺地域の道路側溝の点検清掃を実施することで、雨水排水機能の維持に努め、「可搬式エンジンポンプ」の効果的な設置場所を検討し、冠水被害の軽減を図るとともに、中長期的には調整池なども検討したい。

パートナー収集事業に粗大ごみの屋内からの収集を

互　金次郎

(問) 吉川市のパートナー収集は、高齢者、障がい者や要介護者等の要件のもと、一般ごみの玄関前までの戸別収集を行っていますが、粗大ごみの家の中からの運び出しが大変との声も現実です。パートナー収集に粗大ごみの屋内からの収集も検討しては。

(答)**市民生活部長**　パートナー収集は、高齢者や障がい者、要介護者のごみ出しを支援し、身体的負担を軽減し生活向上を図ることを目的としています。

他の自治体の実施内容も調べ、対応を視野に入れて検討したい。

◆学校問題解決の支援を

(問) 学校のみでは解決が難しい事例に対応するため、当市も先進市等が設置している各分野の専門家からなる「学校問題解決支援チーム」設置を検討しては。

(答)**教育部長**　弁護士、医師等で構成される「いじめ対策委員会」があり、その活用を内部で検討し他市の事例も今後研究します。

園児らの交通安全対策を

五十嵐　惠千子

(問) ①大津市で発生した交通事故を受けて、当市で実施された各園道路等の緊急点検結果と危険箇所への早期安全確保策を。

(答)**こども福祉部長**　5月9日に注意喚起と安全確保策を依頼し、さらに、6月7日を期限に緊急点検を行った。結果をまとめ、全ての園にフィードバックし、市内全体での安全確保策を図る。

◆国産液体ミルク備蓄を

(問) 導入検討の進捗状況は。

(答)**市民生活部長**　液体ミルクの調達を予定し、協議を進める。

◆買い物弱者支援を

(問) ①その対応への考えは。②吉川団地内スーパー撤退の経緯

とニーズを捉えた店舗誘致を。

(答)**健康長寿部長**　①３つの事業を実施しているが、８月に地域フォーラムを開催し、その後も勉強会等で地域支え合いを推進。

(答)**産業振興部長**　②住民へ十分な提供が図られるよう地域支え合いを踏まえ、店舗入所へ働く。

ルールは守るもの！公平な選挙の実施を！

稲葉　剛治

(問)　市長選挙に関連したポスター掲示について、ポスターに証紙が貼られていないものについては違反である。という認識のもと質問をする。ポスターに証紙が貼っていないポスターについての確認、是正は行ったのか、是正後の確認は行ったのか

(答)**総務部長**　ポスター掲示については、選管が承認した上で、交付した証紙を貼り、掲示しなければならない。証紙が貼られていないポスターについては、公職選挙法に基づき是正を求める必要があることから、是正指導を行った。指導後の確認はしていない。

(問)　指導後に確認しなかった理由は。

(答)**総務部長**　予め、守るべき事項の一つとして、立候補予定者説明会において説明している。予め説明している経緯を踏まえ、立候補者が守るべき事項として認識された上で指導をしたと考え、対応しているため。

旧庁舎解体工事での「地下杭」残置は問題では

稲垣　茂行

(問)　残置された杭の状況は

(答)**総務部長**　庁舎の南側を中心に１１２本中、11本を残した。長さは、0.8～30メートル迄様々で、途中で折れてしまっているか崩れたものと考えられる。

(問)　残置した理由とその判断は誰が行ったのか

(答)**総務部長**　現場で、再施行を試みたが杭を引き上げることが出来なかった。他の工法も検討したが、工事続行は地盤への影響や騒音・振動がこれまで以上に発生し、近隣の住環境に影響があるため、市として判断した。

(問)　11本の杭を抜かず埋め戻したことで、跡地利用が制限される。売却時には、瑕疵担保責任を負うリスクとなるのでは

(答)**総務部長**　今後の利活用に影響が生じないよう、杭の位置を盛り込んだ計画としたい。販売時には「重要事項説明」になる。

(問)　市長はどう考えるのか

(答)**市長**　杭を抜くにはあと６千万円掛かる。売却せず市が使うことで、出費が抑えられた。

美南小学校区から中曽根小学校への入学について

小野　潔

(問)　美南小学校区から中曽根小学校への入学希望制度の内容とスケジュール。また通級指導教室も同様に希望できるのか。

(答)**教育部長**　６月末の教育委員会会議で規則の一部を選択できるよう改正し承認を得て７月に美南小学校区、来年入学予定者全員へ「希望制度の内容と学校公開日の案内」を郵送、９月指定校通知、10月入学通知発送。

◆吉川中学校周辺整備について

(問)　①通学路となる校門側の遊歩道へ街灯整備を②南側雨水システム内の「せせらぎ」憩いの場の整備を③美南調節池の動植物の生態系、野鳥等のパネルを遊歩道調節池に沿いに展示を。

(答)**都市整備部長**　①安全確保のため整備する②整備を図る③調節池側のパネル展示は難しい。

(問)　一刻を争う命を守り切るドクターヘリの場外離着陸場を小中学校の校庭等へ増設を。

(答)**市民生活部長**　吉川松伏消防本部と協議していく。

教育現場での熱中症事故防止対策の徹底を

雪田　きよみ

(問)　昨年愛知県豊田市で発生した熱中症事故に対し、第三者調査委員会は教員の熱中症に対する知識不足を指摘した。

　文科省が出した『熱中症対策フロー』には、熱中症が疑われ意識がない状態なら、救急車を待つ間、首や脇の下・大腿の付け根などを冷やすと書いている。これを実行するか否かで救命率が変わるとしている。教育現場で働く先生方に、実際に行動できるレベルまでフローを身につけてもらうことが重要では。

(答)**教育部長**　基本的にできなければならないこと。養護教諭中心に研修を行う、ガイドブックの読み合わせ、フローの掲示で注意喚起を行うこともできる。

◆新教育長の基本姿勢は

(問)　新教育長としての抱負は。

(答)**教育長**　教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保しつつ、教育課題の解決に全力を尽くす。子どもの笑顔を増やすためには、教職員の笑顔が大切。

農家の所有資産価値を高め農業経営の安定・向上を

齋藤　詔治

(問)　農業振興地域が定められ48年経過し、地域内の一部が開発されました。いまだに多くの既存集落・介在農地内は道路も昔のままです。首都圏に位置しながら、優良農地確保・保全の名の下、農地転用許可規制の厳格化は、地域の資産低価格化に繋がり、地域人口も減少、これらへの行政対応が急務では。

(答)**産業振興部長**　農地の確保・保全が農業振興に繋がり、農家の地位向上のため、引き続き生産性の高い新たな事業に国・県と連携を図り取組んで参ります。

◆許認可事務のシステム再構築で吉川市のイメージアップ。

(問)　許認可事務処理の期間を、短縮して欲しいとの要望がありますが対応は。

(答)**都市整備部長**　宅地開発に係わる許認可は、条例に従い、標準処理期間を定め、事務の適正な処理を行っているが、他自治体の手順や方法を参考に短縮に努めて参ります。

公契約条例の制定を

佐藤　清治

(問)　近隣市では公契約条例を制定している。

　吉川市でも制定すべきではないか。

(答)**総務部長**　賃金などの労働条件の基準となるものにつきましては各地方公共団体レベルではなく国全体の問題として具体的な在り方を検討すべきであると考えておりますので、現在のところ公契約条例を制定する考えはございません。

◆学童保育の職員基準を緩和する法案が成立したが影響は

(問)　厚生労働省が定めた国としての現行の基準は変更しないものの自治体に対しての拘束力はなくなることになる。対応について伺います。

(答)**こども福祉部長**　現在、吉川市学童保育条例施行規則に基づき３人の支援員等を配置して運営している。

　現時点で市の基準を改正する予定はございません。

答えて市長！一般質問―次ページへ続く

答えて市長！一般質問――前ページからの続き

ITリテラシーの底上げは当市の重要な課題

妹尾　百合子

(問)　ITリテラシーについてそれぞれの見解を伺う。①小中学生の情報モラル、家庭内での指導は②子育て世代、保護者のスマホ育児等の指導は③高齢者のネット消費トラブル啓発は④庁舎内のセキュリティは⑤学校教職員の指導・育成、システムの取扱は

(答)**教育部長**　①各校で指導を積み重ねている。家庭向けに注意喚起すると共に情報交換の場を設けるなど啓発も進めている。⑤年度当初に全職員に向けた研修を行い、継続指導もしている。

(答)**健康長寿部長**　②スマホ等視聴状況を健診時のアンケート等で伺い、過度な視聴について注意を促し、親子の時間を大切にと助言。③消費者被害に関する予防周知を行い、商工課が被害防止に係るミニ講座を実施。

(答)**総務部長**　④後期基本計画の施策の一つとして取り組んでいる。引き続き、研修等を通じ適切な業務情報の取扱いができるよう能力の向上を図る。

吉川団地内スーパーが閉店　買物弱者支援、市の施策を

遠藤　義法

(問)　買物が困難な住民の増加が社会問題化する中、吉川団地内のスーパーが4月7日に閉店しました。市の対応・対策は。

(答)**健康福祉部長**　UR都市機構へ「速やかな後継店舗の要請」と「市内業者宛てに移動販売等の要請」を行いました。

(問)　市はもっと積極的に買物弱者対策を推進すべきです。

(答)**健康長寿部長**　フォーラム等勉強会を開き、その後住民の協力を得て協議体をつくり対策を講じていきたい。

◆被災者に配慮ない、放射線副読本の見解と取り扱いは

(問)　原発事故から8年が経過。文科省が全国の児童生徒に配布した「放射線副読本」は、被災者への配慮がなされていない等指摘されています。市の見解は。

(答)**教育部長**　避難児童に対するいじめを防止する内容と復興が着実に前進していることが明記されており、市としては問題ないと捉えています。

ジュニア・アスポート事業の早期設置を

加藤　克明

(問)　生活困窮者世帯などの貧困連鎖の解消に向けた小学生の学習・生活支援を行う「ジュニア・アスポート事業」の早期設置を。

(答)**こども福祉部長**　県のモデル事業として、平成30年度に実施され5市2町6教室で開催。学習支援・食事の提供・体験学習など実施。教室への通所における安全性や公平性を確保するためにも小学校区ごとの開設が理想で実施に向け課題も多い。小学生からの学習支援は貧困の連鎖を防ぐ手段として有効な事業であり、調査研究に努めていく。

(問)　市では、生活困窮者世帯の高校生・中学生に学習支援を行っていますが、受講している生徒数、また小学生の兄弟は。

(答)**こども福祉部長**　高校生13名、中学生32名。小学生13名。

(問)　中学生以下の子どもがいる世帯で低所得線を下回る世帯数は。また、ひとり親世帯では。

(答)**こども福祉部長**　率で7.4％約850名程度該当。ひとり親では、率で44・4％となっている。

公園再生プロジェクトと安全安心のまちづくり

松﨑　誠

(問)　関公園には、桜・メタセコイア等多種多様な品種がある中で、「桜の公園」としたのか。

(答)**都市整備部長**　平成28年度に市職員により公園の現地調査を行い特徴や課題を検討する中で、公園を囲う形で桜が植樹されていることと、桜まつりや東側の二郷半用水沿いの桜並木、ポケットパークと一体感を持たせた中で再生を行うことから「桜の公園」と定めたところです。メタセコイアについては貴重な樹木との認識を持っていません。

(問)　堤防強化対策事業及び防災ステーション整備に向けた考え方は。

(答)**都市整備部長**　江戸川河川事務所との協議を進めていく中で、活動拠点となる水防センターや平時における土地の利活用方法については吉川市が担うこととなっており、より良いレクリエーションスペースとなるよう、地域の皆様と意見交換を重ねてまいります。

「吉川東口」産業ゾーン見学できる工場も

伊藤　正勝

(問)　吉川美南駅の「東口開発整備」は10年計画の3年目。事業の進捗状況。商業・業務ゾーン、産業ゾーンへの関心の度合いを伺いたい。

(答)**都市整備部長**　進出に関心を示している企業33社を去年パートナー事業者として認定。産業ゾーン17社。商業・業務ゾーン13社。両方が3社である。各社と2～3回、個別に意見交換などしている。産業ゾーンについては見学のできる工場など当方の要望に沿った進出について手応えを感じている。商業・業務ゾーンについては、パンフレットで例示したホテルやアミューズメントは今のところ出ていない。文化、教育施設も民間だけでは難しい状況だ。

(問)　33年度の土地の引き渡しなど計画変更はないか。

(答)**都市整備部長**　立地企業の公募要件をまとめ年度内には募集開始の予定。地権者は9割方の合意を得ており、残りの方々とも話し合いを進めている。

高齢化に伴う利便性の高い公共交通の実現にむけて

岩田　京子

(問)　公共交通は、免許返納後の移動の足として非常に期待されている。市内循環バスを有料でという要望もたくさんいただいている。市民が納得する公共交通に向けて、市民参画で行う公共交通会議の開催を、市民の会としても要望してきているが。

(答)**政策室長**　開催の考えはない。

(問)　歳を取ってからバスに乗り始めるのではなく、若いうちからバスを選べるようなバス優先社会の実現が必須。私たちが乗り物を選ぶとき、次の移動への「連続性」が大事。雨にあたらない、待たない、乗換えが楽、距離が近い等。駅前の対策は。

(答)**政策室長**　これから開発する美南駅東口では、駅から一番近いところにバスを置いて、遠いところで一般乗用車が乗降するようなロータリーにする予定。

(問)　「駅に近い」にプラスして、「雨に当たらない」というメリットもあるといいと思うが。

(答)**都市整備部長**　今後の検討になります。

通告第16号、小林昭子議員の一般質問は、欠席により取り下げられました。

6月定例会　審議結果

≪市長提出議案≫

○＝賛成、×＝反対、議＝議長（議決には加わりません。）、◎＝議案提出者、欠＝欠席

議案名	議決結果	市民の会・無所属						共産				未来会議				自民			公明		
		濱田美弥	岩田京子	降旗聡	伊藤正勝	稲垣茂行	齋藤詔治	遠藤義法	雪田きよみ	佐藤清治	小林昭子	林美希	妹尾百合子	戸田馨	稲葉剛治	加藤克明	松﨑誠	中嶋通治	小野潔	五十嵐惠千子	互金次郎
専決処分事項の承認について（平成30年度吉川市一般会計補正予算（第６号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
専決処分事項の承認について（吉川市税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
専決処分事項の承認について（吉川市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市水道運営委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市税条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
吉川市保育所条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
令和元年度吉川市一般会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
令和元年度吉川市下水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

≪議員提出議案≫

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	欠	×	×	×	×	○	○	議	○	○	○
国民健康保険に対する国庫負担を増額し均等割り額の軽減を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	欠	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×
児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	◎	○
日米地位協定の見直しを求める意見書（☆）	否決	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
放射性物質による環境汚染を防止するための法整備を求める意見書（☆）	否決	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

≪請願≫

教科書採択に関する吉川市教育委員会及び第25採択地区協議会の議事録の公開性・透明性を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

＊会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」の略です。
☆可否同数のため、地方自治法116条１項の規定により議長が裁決権を行使しました。

～議会を傍聴しませんか～

次回定例会の予定

市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

9月2日（月）本会議【開会日】
9月4日（水）本会議【議案審議】
9月5日（木）本会議【議案審議】
9月9日（月）委員会【総務水道・文教福祉】
9月10日（火）委員会【総務水道・文教福祉】
9月11日（水）委員会【建設生活】
9月12日（木）委員会【建設生活】
9月13日（金）委員会【請願審査】
9月18日（水）本会議【委員長報告】
9月19日（木）本会議【一般質問】
9月20日（金）本会議【一般質問】
9月24日（火）本会議【一般質問・閉会日】

傍聴時のお願い

本会議は午前10時、委員会は午前9時30分に開会します。傍聴は、次の事項を守ってください。

◆静粛にすること
◆議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
◆騒ぎ立てる等、議事の妨害をしないこと
◆携帯電話等の電子機器の電源を切ること
◆係員の指示に従うこと

編集後記

新議場での初議会から一年目を迎えた令和元年6月議会。新たな決意と緊張感を持って18名が一般質問に臨みました。議会の使命は、吉川市をより住みよい豊かな街にするために、市民の声を市政に反映させる事との共通認識の下、激動の新時代を真摯で前向きな議会となるよう努めると共に、わかりやすい紙面を目指して参ります。

また、6月18日は広報委員会が主体となり「吉川美南高校生の議会体験」を開催。9人の生徒が模擬の一般質問等を体験し、「議会への理解が深まった」等の嬉しい評価をいただきました。若い世代の皆さんも市議会を身近に感じ、関心を持ってもらえる事を期待いたします。

五十嵐惠千子

特集 吉川市議会の知っ得！

交流編 高校生が議会を体験！

これからの社会を担う若い世代のみなさんに、政治をより身近に感じてもらいたい企画第３弾！
吉川美南高校の生徒さんをお招きし、模擬議会を開催しました。

到着した生徒のみなさんを、議員となまりんが拍手でお出迎え！
お互いに自己紹介をして模擬議会がはじまりました。

まちづくりの様々なことが、議案として議会に上程され、議論され、最終的には議員の多数決で決まること。その過程と二元代表制について説明し、採決の体験をしてもらいました。

実際の議会同様、演壇に登壇し、一般質問を行ってもらいました。市のお金の使い方や、吉川美南駅東口周辺の開発、通学路の街灯についてなど身近であり、また重要である事柄を様々質問をしていただきました。

質問に対し、広報委員会所属の議員が答弁。生徒のみなさんは、その答弁に真剣に耳を傾けてくれました。

模擬議会終了後、採決ボタンを使ってアンケート！

Q．模擬議会に参加する前より、議会の仕組みへの理解が深まりましたか？
　→　全員　○

Q．18歳になったら選挙に行こうって思いますか？
　→　全員　○

Q．「政治家」も将来の選択肢に入りますか？
　→　全員　×

Q．模擬議会に参加してよかったですか？
　→　全員　○

模擬議会終了後、みんな笑顔で集合写真！ありがとうございました☆

☆吉川美南高校と地域の連携事業の一部をご紹介します☆

●主権者教育

吉川市選挙管理委員会との協働により、吉川美南高校の生徒がボランティアとして選挙事務に協力してくれました。

また、平成28年1月の吉川市議会議員選挙に合わせ、吉川青年会議所主催による実際の候補者名を使用した模擬選挙に54名の生徒が参加しました。

本物の記載台と投票箱を使用し、実際の選挙公報から情報を得て、より現実に近い形で投票を体験しました。

●芸術文化振興に参画

埼玉県教育局は「学校地域WIN-WINプロジェクト」を平成30年度から開始し、県内から実践研究校として5校を選定、そのひとつに吉川美南高校が選ばれました。

地域の力と学校が連携し、生徒たちが実社会からの学びを得ることと、学校の力を地域に活かす事業です。吉川美南高校を核に地域の子ども達が吉川市の文化施策を提案します。